

協議事項39

第4期教育振興基本計画について

第4期教育振興基本計画について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和5年11月21日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

第4期教育振興基本計画について

1. 第1回「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」意見要旨

(1) 第4期教育振興基本計画の策定の方向性について

(主な意見)

- ・計画を学校現場など教育関係者に配布するだけでなく、保護者などにも発信していくのであれば、簡素化・重点化をすべきである。
- ・第3期の基本計画の冊子は詳しすぎるため、今回の策定の方向性に賛成である。言葉はできるだけ短く、インパクトがあるものがよい。
- ・重点化する際に十分に検討は必要であるが、簡素化・重点化の方向性は支持する。

(2) (仮)教育ビジョンについて

(主な意見)

- ・5年間の期間限定だとしても、校是と同じく、ビジョンが立ち戻る原点として有効なものになるとよい。
- ・ビジョンは学校に関わる人、皆が共有する価値である。学校が、一人ひとりの個性が大切にされる場、個性が伸ばされる場となればよい。
- ・教育振興基本計画の指針となるビジョンという位置づけなので、基本政策を分かりやすくするようなワードがよい。
- ・保護者や現場の教員に、ある種、強制させるようなものではなく、様々な関係者がそれぞれの立場で聞いて納得できる、バランスの取れたフレーズであることが大事である。
- ・「お互いを尊重する」「認め合う」といったキーワードが大切である。「違いを認め合う」ということを軸にして考えればよいのではないか。

(3) 基本政策等について

①基本政策について

(主な意見)

- ・5つの基本政策の柱には、第3期の重点事業もほぼ包含している。文言は検討する必要があるが、全体としてはよい。
- ・第3期の14の重点事業には承継すべきものもある。14項目が並んでいた方が分かりやすいかもしれないが、基本政策の下の主要施策に盛り込まれていくのであれば問題ないのではないか。
- ・基本政策→主要施策と階層性を持たせたうえで、どのように見せていくのかということが重要。分かりやすい施策体系としていただきたい。
- ・「これからの学び」「一人ひとりきめ細かな支援」を中心に、5つの基本政策をビジュアル化するとよい。

②主要施策(例)について

(主な意見)

- ・自己肯定感の改善については施策に盛り込むべき。神戸で先進的な取り組みを行っていただきたい。

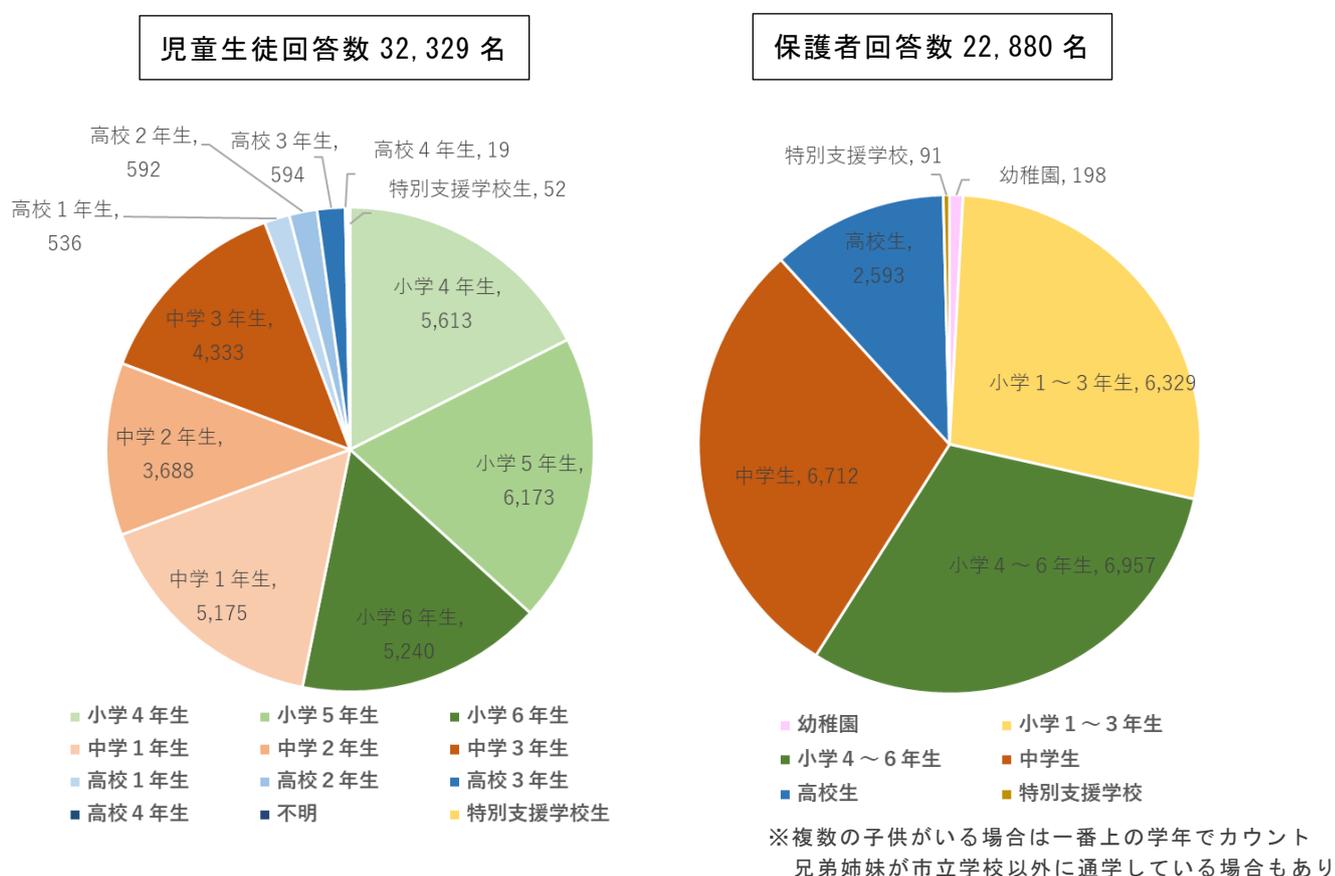
- ・教職員の働き方改革については、管理職の育成が非常に重要となるので施策に盛り込んでほしい。

③参考指標について

(主な意見)

- ・参考指標について、やり方を間違えると評価を見誤りかねないので、データの取り方に留意する必要がある。例えば、全国学力・学習状況調査などの結果がよい結果になるよう、児童生徒に強要してはいけない。
- ・全国学力・学習状況調査は重要であるが、具体的項目を記載せず、教育委員会の中で共有するだけでもよい。

2 児童生徒・保護者アンケートの意見集約状況 (※11月17日時点)



3 今後の予定

- ・11月 : 児童生徒・保護者アンケートの実施
- ・12月下旬 : 第2回有識者会議
- ・1月下旬～2月下旬 : 上記アンケートや有識者会議のご意見を踏まえ、素案として取りまとめのうえ、パブリックコメントを実施
- ・3月中旬 : 教育こども委員会において計画(案)の報告
- ・3月下旬 : 教育委員会会議にて議決